

野田物語

棋士・渡辺東一 ⑨ 将棋連盟の 会長として



連盟本部建設のため大口寄付者には感謝の品も／関根金次郎支部所蔵

戦後の焼け野原の中から、渡辺東一が中心となり、将棋界再建に向けて血のにじむような努力を重ねてきた結果、新聞社や薬品会社から資金の調達が出来、昭和21(1946)年5月からは、木村義雄十四世名人が提唱した新制度による順位戦もスタートしました。昭和23(1948)年3月、渡辺は周囲から推され、日本将棋連盟の会長に就任します。また「自分の将棋の限界を知った。また、会長という公職につく限りは公平無私でありたい」との理由で、翌24年3月、42歳で現役から引退します。しかし、渡辺には会長として

てひとつの夢がありました。それは、対局場のある将棋会館の建設でした。旧小石川区にあった将棋大成会は空襲で焼け、戦後は、金易二郎八段(名誉九段)、渡辺東一宅を本部と仮事務所としてスタート。その後、トモ夫人の伯父でダイヤモンド社創業者の石山賢吉の手配で、後楽園球場内に将棋連盟の事務所を構え、初台の中山家、麻布の若松寺などを借りて対局場としてきました。しかし、いつまでも借家であるわけにはいかず「将棋の拠点」を作ろうと、全国各地の愛棋家に寄付や募金をお願いしたり、新聞社へも協力を働きかけたりしてきました。それでも、家一軒分を購入するお金を集めることは、容易なことではありません。渡辺以下、連盟の役員や会員が懸命に努力してきた結果、昭和24年7月、ついに日本将棋連盟の事務局を中野区昭和通りに購入し、本部を設置することがで



中野に完成した連盟事務局／写真提供＝渡辺桂三氏

きました。渡辺は雑誌で「私が連盟の会長を引き継いだときは、まだ連盟の建物というのがなかったからね。焼けちゃって…。後楽園で一室を借りて事務所にしたりしていてね。だから、その建物を建てたかったですよ。(中略)：加藤治郎(名誉九段)さんもずいぶんと苦労していた。早く、東中野にウチを持ったのが一番の喜びだったな」と当時を振り返っています。こうして、戦後の焼け野原の中から、中野に連盟の事務所を構えるまでになり、渡辺会長の尽力のもと、棋界は順調に発展していきました。が、このあと「陣屋事件」が起こります。※文中敬称略(次号へつづく)
【参考資料】「倉島竹二郎の巨匠対談(第2回) 渡辺東一名誉九段」／「将棋世界」
【資料提供】越智信義氏

10月の休日当番医

休日当番医での診療時間
 外科・産婦人科 = 9時～22時(ただし16時～19時は除く)
 内科 = 9時～16時(19時～22時は急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
1日(日)	東葛クリニック野田(☎7124-3101)	はたのこどもクリニック(☎7123-7121)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
8日(日)	須藤整形外科(☎7122-1221)	野田病院(☎7127-3200)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
9日(月)	キッコーマン総合病院(☎7123-5911)	奥野循環器科クリニック(☎7123-7711)	川間太田産婦人科医院(☎7127-1135)
15日(日)	梅郷整形外科クリニック(☎7125-2011)	野田南部診療所(☎7121-0171)	キッコーマン総合病院(☎7123-5911)
22日(日)	門倉病院(☎7124-5311)	新村医院(☎7138-2103)	小張総合病院(☎7124-6666)
29日(日)	山崎外科内科(☎7122-2359)	小林医院(☎7122-2835)	荒井医院(☎7122-5723)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272：コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認をしてください。

急病センター ☎7125-1188

▼内科(小児科) = 19時～22時(毎日)
 ▼歯科診療 = 9時～正午(休日)

▼今日みずき一丁目開設した「まめばん」は、近年の治安悪化傾向に伴い、近隣に交番がない地域に交番に準じた施設として設置したもので、警戒活動や防犯相談、自主防犯組織との連携などを行います▼市内全域を青色回転灯搭載の防犯パトローラー車で巡回もしますので、防犯活動の強化が期待できます▼10月は、山菜や栗、りんごなどの秋の味覚に舌鼓を打ったり、紅葉の美しい野山を満喫できる季節です。家族や友人と秋を散策しに、ちょっと足を延ばしてみたいかがでしようか。(ち)

編集後記

市の木



けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり